

資料4

補助事業等申請状況

第3回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所：秋田市正庁

平成23年8月2日（火）

1 補助事業等への申請

- あきたスマートシティ・プロジェクトでは、事業経費を国等の補助事業から充当することとしている。今般下記の事業に申請または申請予定である。

(1)緑の分権改革調査事業(総務省) 申請者:秋田市

日 程:申請締め切り 6月15日 委託先発表 7月27日(不採択)

申請内容:①木質バイオマス燃料普及促進

②地域資源を活用したエコ活動促進

該当事業:①地産エネルギーの導入促進

②グリーンツーリズム促進、あきたスマートシティのビジョン

(2)スマートコミュニティ構想普及支援事業(経済産業省) 申請者:日本総研

日 程:申請締め切り 8月12日(金) 交付先発表 9月上旬

申請内容:①再生可能エネルギーによる発電事業

②電気自動車への給電

該当事業:①地産エネルギーの導入促進

②低炭素モビリティ事業

2 申請の概要 ～緑の分権改革調査事業～

- 秋田の有する強みである、自然環境、食文化、教育を活かした域内循環型ビジネスの創出を目指し、以下の2つの実証事業を実施する。

実証事業1:木質バイオマス燃料普及促進事業

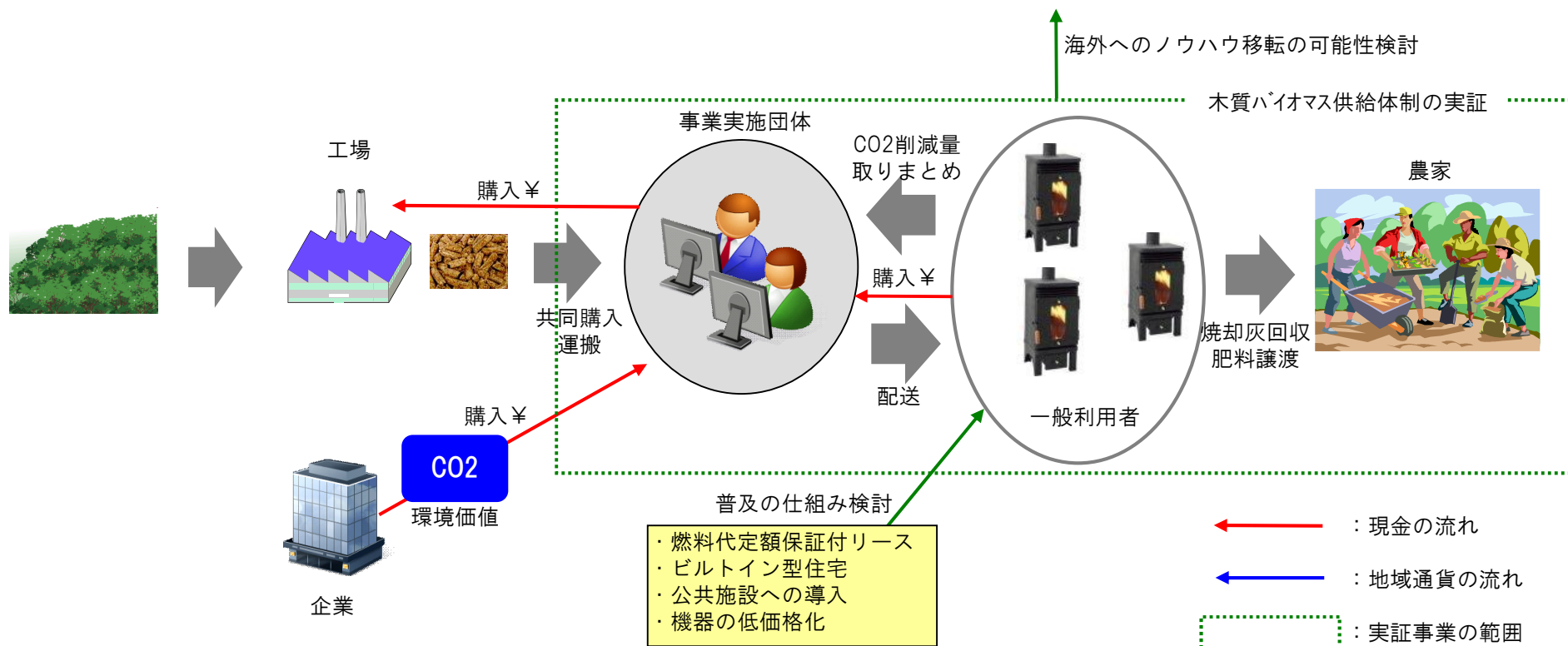
- 従来より、民間事業者を中心とした取組みがなされている**木質ペレット**に着目し、その**普及促進**が民間事業者間で展開される上での課題解決について実証調査を行う。
- ペレットの**共同購入、配送、焼却灰の回収**を一貫して行う事業についての実証と、ペレット燃料利用の**初期投資の低減**を検討。

実証事業2:地域資源を活用したエコ活動促進事業

- 将来の社会づくりの主役となる**大学生**が主体的に**環境学習**や**環境保全活動**に取り組む力を身につけることを目指すため、地域の人たちの協力を得て、エコ学習・エコ体験活動を推進していく組織(グループ)を立ち上げ、身の回りの生活環境の調査探検、計画づくり、実行と評価といったプロセスを学校全体で取り組んでいく。
- 高齢者を対象としたヒアリング**、**民間企業の戦略立案策定支援**など、若者の視点で現代の秋田ならではのエコなくらしや移動手段を継続的に体感・学習できる具体的な仕組みを策定する。

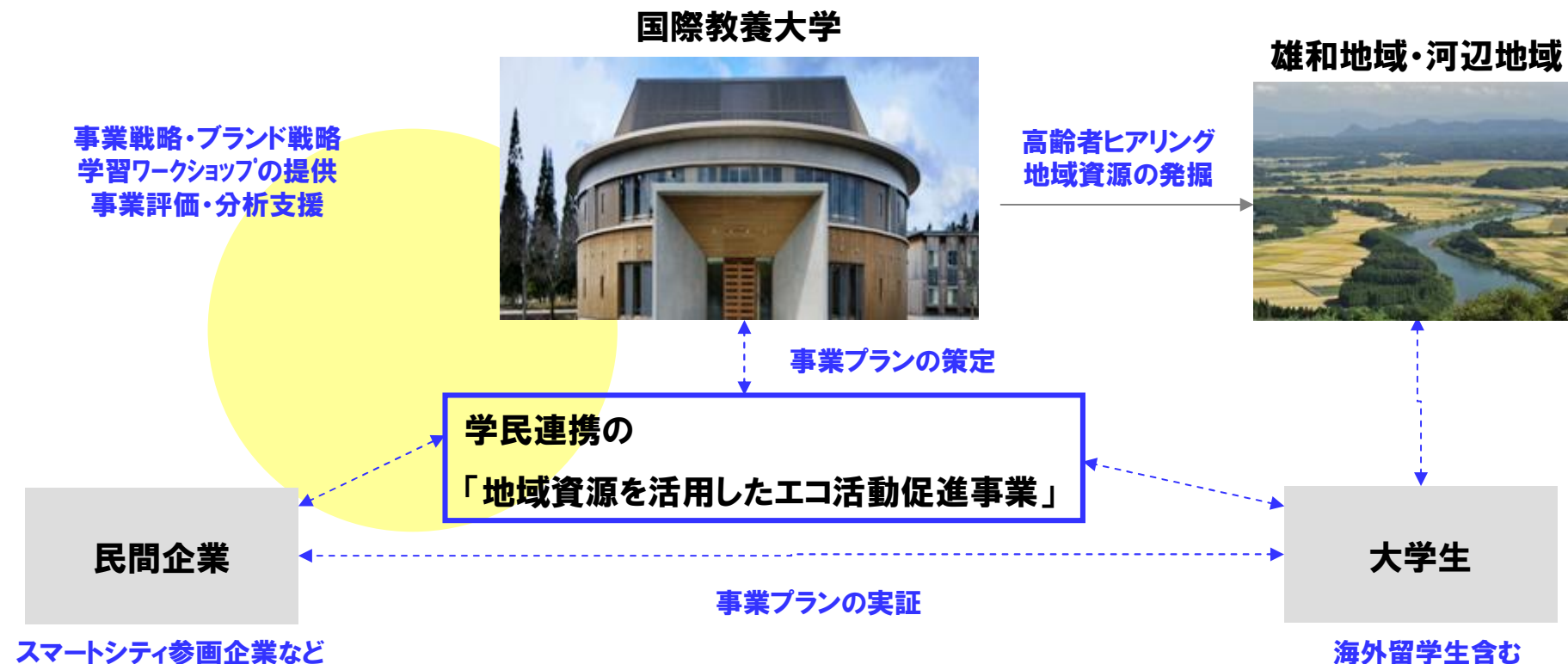
3. 1 事業のイメージ ～緑の分権改革調査事業 木質バイオマス燃料普及促進事業～

- 木質ペレット協議会等との連携のもと、以下のスキームの事業の実現可能性について実証調査を行い検討する。



3. 2 事業のイメージ ～緑の分権改革調査事業 地域資源を活用したエコ活動促進事業～

- 国際教養大学との連携のもと、以下のスキームの事業の実現可能性について実証調査を行い検討する。



4 申請の概要 ～スマートコミュニティ構想普及支援事業～

- 太陽光、風力、地中熱等の地産エネルギーに加え、木質バイオマスエネルギーの活用及びライフスタイル転換と地域経済循環によるスマートシティ(コミュニティ)形成の可能性調査を実施する。
- 主な調査項目は以下の4点。
 - ①木質バイオマス発電の発電量の推計、風力・太陽光発電の発電量の推計、地中熱のエネルギー量推計
 - ②エネルギーサービス事業(PPS事業)の事業成立性の検討
 - ③電気自動車・電動自転車等の低炭素交通ネットワーク形成の可能性検討
 - ④環境価値の地域内循環の可能性検討
 - ⑤地中熱の有効利用による低炭素な暮らしと産業の実現

5 事業のイメージ ～スマートコミュニティ構想普及支援事業～

